



☎ 591-7376
akito.n@m3.
dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2005年 2月発行 第38号
日本共産党中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 1か月 2900円
日曜版 1か月 800円
お申し込みは
南多摩事務所
☎042-374-4384
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



2期8年の 馬場市政

2期8年の馬場市政をどうみるのか。市長の任期も終わりに近づき4月には市長選も行なわれます。いま私は議員活動を行ないながら、多くの市民、団体の方々からなる『市民の会』のお手伝いもさせて頂いております。

紙面の制約でごく概略ではありますが、私どもの見た馬場市政について、ここにまとめてみました。なお、くぼた之喜さんの市政に対する提言や「市民の会」の政策は、ご家庭に配布されるピラなどをご覧下さい。

中野あきと

「行革」の最大の犠牲は子どもと教育

馬場市長が掲げているスローガンには保育園の「待機児ゼロ」「子育て不安ゼロ」があります。

でも、これまでの施策を振り返ってみると、保育園の園児に関わる経費のカットや学童クラブなどでの詰め込み保育、公立幼稚園の廃園など、「行革」のしわよせの主なもの子どもと教育にむけられています。手法も実情を見ない一律カットで、園児の給食の献立にも支障がでるなどの問題も発生しました。



「市民参画の市政」は看板だったはずだが

「南部の病院用地」の売却を市民が知ったのは、まったく突然のことでした。開発業者の選定、計画づくりは「コンペ」方式と称しながら、完全な非公開。これがその後市内におきる大型マンション建設の引き金にもなっています。

高幡不動駅の駅舎建て替えでも、大枠は京王との密室協議で決定し、商店街、利用者への説明は後回し。総合体育館計画は市民より、まず企業に相談という姿勢です。

環境に優しい市政というが

これまで日野市は「緑と清流」のまちづくりをすすめてきました。住民の同意なき開発は認めない『指導要綱』もあります。ところがここ数年、ルールもおかまいなしの、大型高層マンションが計画され、住環境悪化が大きな問題となっています。

わずか3名の同意で建設が容認されたり、市が決めた「マスタープラン」も棚上げされ、「これ以上指導は困難」と投げ出したりされています。まちづくり問題は市政の緊急の課題です。



紹介
します

くぼた之喜さん（ゆきよし）
くぼた之喜さん（ゆきよし）

「窪田さんはどんな人なのか」。こんな問い合わせが私の事務所にありました。地域で行われている対話でも「行政手腕が期待できる人々」などの声が聞かれます。私が見た「人間くぼた」像をお伝えします。〈中野あきと〉

憲法に学び、地方自治にこだわった生き方

デンマークなど北欧のすずんだ福祉の国々を視察してきた窪田さんは、よく「憲法二五条に書いてあることをちゃんとやるのが大事」と語ります。市の「憲法記念行事」日野市民自治研究会での活動を続け、住民運動や「市民自治」にこだわりつつけてきました。

正義感・市民派弁護士

弁護士への道のきっかけは、故郷静岡の製紙工場の公害問題や水俣病事件に衝撃を受けたこと。二九年间、社会正義にこだわり、庶民によりそう市民派弁護士として活動。市内に事務所を置き、私もしばしば法的な相談にのってもらっています。

実行力の人・さまざまな困難を解決

全国的にも最大規模の病院倒産（負債二二〇億）に弁護士としてかわり、病院職員、多くの患者さん達と力を合わせて、「破産」ではなく「再建」を実現。ともに関わった弁護士は、「人間の可能性を信じ、皆の力を大切に人」と語り、病院関係者は「熱くて優しい実行力の人」と評します。行政手腕についても、充分信頼できる人と私は思っています。



くしづらに区画整理懇談会

昨年夏以来久々に、地元共産党後援会と中野事務所が主催する懇談会が開かれ、はじめの方も含め十四名が参加。区画整理の状況や困っていることなどについて質問や意見交換が行なわれました。

立ち退きを迫られている実態や、高いマンション建設が進む中での生活環境を心配する声などが出されました。

中野議員からは移転補償や清算金についての考え方や基準の紹介、不当な権利侵害への対応、高層マンション建築規制の今後の展望などが報告されました。

なお、弁護士で市長選予定候補のくぼた弁護士も参加。区画整理やまちづくりに関する基本的な考え方や意見が述べられました。

【ミニ・ニュース】

- ☆インド洋大津波災害救援募金で、ユニセフから礼状 村松みえ子事務所は、1月に駅頭・街頭などで救援募金を訴えました。寄せられた募金をただちに「ユニセフ」に送金したところ、早速礼状が送られてきました。
- ☆地元、共産党後援会と中野あきと事務所主催の「新春のつどい」が1月23日行なわれ約60名が参加。呼び物のオークションなどが行なわれました。
- ☆市長選『日野市民の会』の政策学習会が、1月30日、市民会館小ホールで行なわれ、中野あきと市議が「財政問題から見た市政」について報告を行ないました。また、市内各地の住民のたたかいなども報告されました。



市民の皆さんと一緒にがんばれば・・・

前都議会議員 村松みえ子

市民の皆さんとの対話では、政治に対する思いやたくさんの要求が出されます。こうした私達の活動に「できもしないのに市民を惑わす」という宣伝が、与党などからかけられます。でも、日野の党市議団はこれまでにもミニバス路線の導入や拡充、日野駅の歩道トンネルなど多くの成果を上げていますし、乳幼児医療費助成制度、公立病院への補助などなど、私自身も幾つもの要求を実現してきました。また、地域医療圏の病院の「ベッド数規制の見直し」を都にせまり、市立病院の改築のみちを開きました。

日本共産党は都議会でも市議会でも、決して議席数は十分なものではありませんが、常に「住民の皆さんに寄り添い一緒になってがんばれば道は開ける」というのが私の確信でもあります。四月には市長選。市民の声を無視し南部の医療用地を開発業者に売り払い、住環境破壊の大型マンション乱立の引き金を引いた市政を転換させるため、私も力を尽くす決意です。

みえ子の 飛びある記



◇中野あきとの生活相談メモ◇

- ◆区画整理による移転補償に関する相談（豊田南）
補償基準を紹介しながら交渉を継続中
- ◆区画整理の営業補償に関する相談（日野駅北）
市の組合指導係などへの聞き取り、調査中
- ◆生活困難に関する相談（2件）
生活保護を申請
- ◆営業に伴う借金苦に関する相談
弁護士と共に対応

《3月の無料法律相談案内》

3日（木）村松みえ子事務所 午後6時～8時
10日（木）市役所6階・共産党控え室

午後1時～3時

※お問い合わせ 村松事務所 582-0504
中野事務所 599-3350

日本共産党では法律事務所の協力を得て、「無料法律相談」を毎月2回行なっています。ご希望の方は予約が必要ですので、お問い合わせください。

なお、生活相談等は、随時、議員または事務所で行なっています。

短信

「いま政治に求められていることは、国民の目線に立って一人ひとりの人間が大切にされる連帯の社会を築くことです」。参院の代表質問で共産党市田書記局長が首相の政治姿勢をたたきました。「支え合って生きるという社会原理で、街も国もつくり直していく。これは憲法二五条にそっくり書いてあるんですよ」。市長選に立候補を決意した窪田ゆきよしさんの信念です▼額に汗して働く勤労者、働こうにも職のない多くの若者、大変な時代に貢献してきたお年寄りなど、圧倒的な国民が『負け組』にされ今の暮らしも将来も脅かされています。国でも地方でも政治のあり方が問われています▼「国の決めたことだから粛々と従う」イラク戦争に対する立場を問われた馬場市長の発言です。「国と自治体は明治憲法のよいうに上下関係ではない。それは憲法違反だ、間違いだと言ったことが自治体の責任」と窪田さん。四月一七日、市長選の投票日。地方政治のあり方も問われる選挙です